

つづき あい 通信

第26号

今号の内容



都筑区内15地区が勢揃い

第4期都筑区地域福祉保健計画 それぞれの地区別計画 中間報告

※地区別計画冊子の完成・発行は5月末の予定です。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、積極的な地域活動をしていくことが大変難しい年となりました。そのような中、感染症対策を行いつつ、様々な工夫をしながら地域の課題や今後の取組について話し合う場を持ち、中には参加人数を絞って地域懇談会を開催した地区もありました。

第4期の地区別計画のスタートまで、あと少しです。今号は、これまで地域の皆さんが検討を重ねてきた第4期計画地区別計画の内容をご紹介します。どの地区もその地域の特性に合わせた計画となっています。住んでいる地区の目標だけでなく、他の地区の目標や取組も、ぜひ、今後の活動の参考にしてみてください。



都筑区地域福祉保健計画について

地域福祉保健計画の策定の目的は、地域の皆さん、都筑区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザそして区役所の4者が協力して、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らすことのできる地域社会を実現していくことです。都筑区で策定している都筑区地域福祉保健計画では、人と人との「であい ささえあい わかちあい」を基本理念とし、「であいが広まり、お互いにささえあい、地域がもつ力をわかちあえる地域づくり」を目指す姿としています。



東山田地区

東山田一～四丁目、東山田町

目標 1 | つながり・支え合う地域づくりを進めよう

- 住民同士のつながりの希薄化解消のため、地域行事の更なる活性化に努めよう。
- 地域活動に参加しやすい雰囲気醸成し、埋もれた人材の発掘に努めよう。
- 当番制の町内会役員(組長・班長)等について、高齢化等の理由により、その任務を担えない場合の対応等について考えよう。

目標 2 | 高齢者や障害者が安心して暮らせるよう、防災に関する活動を積極的に進めよう

- 防災に関する『住民アンケート調査』を実施し、福祉の観点から地域防災のあり方等について検討しよう。
 - 自然災害が多様化していることを鑑み、防災訓練等の仕組みを再考しよう。
 - つづき そなえ※『災害時家族票』の更新を計画的に実施しよう。
- ※「つづき そなえ」とは、災害時に要援護者を支援するための平常時からの見守り活動です。

目標 3 | 『地域福祉関係団体』等との連携を深めるとともに、第3期計画の目標を引き続き進めよう

- 関係団体等と定期的に意見交換の場を設け、課題解決に努めよう。
- 地域におけるボランティア団体等に対し、引き続き支援を続けよう。
- ラジオ体操や『ちょっと立ち寄れる場(カフェ)』の活動を引き続き支援し、推進しよう。
- 子どもや高齢者そして支援が必要な人に目を配ろう。
- 自治会・町内会への加入を促進し、情報等の漏れが無いよう地域の空白地の解消に努めよう。

ラジオ体操



三丁目カフェ

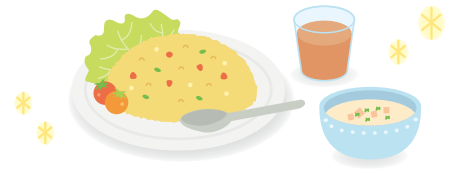


山田地区

北山田一～七丁目、すみれが丘、
南山田一～三丁目、南山田町



山田富士公園で遊ぼう



ふれあい昼食会

目標 1 | 地域行事や地域活動を活性化し、住民の参加や交流を促進します

- 良い伝統を継承できる仕組みを作ります。
- 子ども、高齢者、障害者が参加しやすいイベントを充実させます。
- 住民全員が気軽にボランティアができ、参加できる環境を作ります。
- ITを活用し、まちの良さ、まちの情報を発信します。

目標 2 | みんなで支え合い、健康で楽しめるまちづくりを進めます

- 健康づくりのイベントを開催して、みんなで健康寿命をのばしましょう。
- 異世代交流を図り、絆でつながるまちづくりを進めます。
- 子育てがしやすく、高齢者が安心して暮らせる地域を目指します。

目標 3 | コロナ禍の現状を鑑み、 第3期計画の目標を継続して取り組みます

- 災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」※を強化・推進します。
- 地域の中で、誰もが利用できる新たな居場所づくりのために活動します。

※災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」とは、災害時に要援護者を支援するための平常時からの見守り活動です。



中川地区

あゆみが丘、牛久保一～三丁目、牛久保町、
牛久保西一～四丁目、牛久保東一～三丁目、大棚町、
大棚西、中川一～八丁目、中川中央一・二丁目

赤ちゃん会



中川小学校運動会



目標 1 | 安心した日常生活を送るための日頃からの関係づくり

- つづき そなえ*の取組を継続していこう。
- 身近なところで誰もが集まれる居場所づくりや交流の場づくりを進めよう。
- 防犯パトロールや清掃活動などに取り組み、地域での顔の見える関係づくりやつながりづくりを進めていこう。
- 外出が難しい方などを暮らしの中でゆるやかに見守ろう。
- 新たな担い手育成など体制づくり、仕組みづくりを進めよう。

※「つづき そなえ」とは、災害時に要援護者を支援するための平常時からの見守り活動です。

目標 2 | 地域 みんなが子育てに関わるまちづくり

- 赤ちゃん会や市立保育園の園庭開放、外遊びなど、今ある活動を継続するための支援を行おう。
- 子ども会同士のつながりをさらに深め、取組の活性化を進めよう。
- 地域の活動への子どもの参加を進め、子ども同士、親同士のつながりをつくっていこう。
- 何らかの支援が必要な子どもたちのセーフティネットづくりを進めよう。

目標 3 | 健康寿命を延ばそう! 地域全体で取り組む健康づくり

- 保健活動推進員の健康チェックなどを通して、自分自身の事を知ろう。
- 地域で仲間と楽しみながら活動することで、みんなで健康づくりを進めよう。
- 人と会って話すことで心の元気を育もう。
- 同じ趣味を持ったグループ同士の交流を図ろう。



勝田茅ヶ崎地区

勝田町、勝田南一・二丁目、茅ヶ崎中央、茅ヶ崎町、茅ヶ崎東一～五丁目、茅ヶ崎南一～五丁目

目標 1 | 向こう三軒両隣 顔の見える地域づくり

- 近所付き合いは挨拶から、挨拶運動を進めよう。
- 新しい時代に合った地域活動・取組を考え、実践しよう。
- 子どもから大人まで誰もが参加できる地域活動・イベントを企画し情報を発信しよう。
- 地域をよく見て、知って、気にかけて、顔の見える関係づくりを進めよう。
- 各種団体の情報交換会を開催し住民相互つながりをつくろう。

目標 2 | 誰もがいきいき健康で活気あふれる地域づくり

- 地域で仲間をつくって、健康づくりを進めよう。
- 身近な施設で環境を活かして、皆が集まり楽しめる場をつくっていこう。

目標 3 | 「災害時」住民相互が支え合い安心して暮らせる地域づくり

- 災害時要援護者支援「つづき そなえ」※の取組を進めよう。
- 地域の高齢者、障害者、子どもの施設・関係者と一緒に支え合いを進めていこう。
- 日頃から見守りや、災害時の助け合いの仕組みづくりについて考えよう。

※災害時要援護者支援「つづき そなえ」とは、災害時に要援護者を支援するための平常時からの見守り活動です。



紅葉狩り



さつまいも苗植え



目標 1 | かちだ地区おもいやりネットワークの更なる充実を図ろう

- 全世帯を対象に緊急連絡先カード・そなえ安心カードで緊急時の連絡先を確保すると共に定期的な更新と継続を行います。
- ライト運動や防犯パトロールを通じて、さりげない見守りと各住戸の異常の早期発見につなげます。
- 高齢者の交流の場として「サロンひだまり」を充実させます。
- 年2回の災害時安否確認訓練を継続し、さらなる具体的な行動を検討していきます。
- おもいやりネットワークが住民に根付くよう、取組を周知していきます。

目標 2 | 健やかで幸せな健幸団地を目指そう

- 健幸ラジオ体操の継続実施を目指します。
- 健康づくりを実施する人を増やします。
- 関係機関と連携し、支援が必要な人への理解を進め、地域の認知症サポーターを増やし、温かく見守る地域づくりを目指します。

目標 3 | 地域で子どもを育てよう

- 福祉の芽を育てるため、小中学生との「ふれあい昼食会」の取組を継続します。
- 子どもから大人まで顔が見える関係づくりや青少年育成のために、夏祭り等を青少年と一緒に取り組みます。
- 青少年にとって団地がふるさとになるような取組を考えます。

サロンひだまり



クリスマス会



新栄早淵地区

新栄町、早淵一～三丁目

夕涼み会



はやぶち公園であそぼ～



目標 1 | 住めば都は あなたがつくる

- みんな主役の夕涼みのつどいにしよう。
- 歌声喫茶でリフレッシュしよう。
- 今、自分が出来ることから始めよう。

目標 2 | 困ったときは おたがいさま

- 災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」*の取組を続けよう。
- 困った時に声を掛けられるような関係づくりをしよう。
- 防犯パトロールなどの日常적인見守りをしていこう。

※災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」とは、災害時に要援護者を支援するための平常時からの見守り活動です。

目標 3 | 笑顔がであう 緑のまち

- 公園と緑道を歩いてみよう。
- 身近な自然を楽しもう。
- 外遊び(公園遊び)の楽しさを体験しよう。



都田地区

大熊町、折本町、川向町、桜並木、長坂、
仲町台一～五丁目、東方町、平台



都田地区地域福祉保健計画
キャラクター
小松菜hairのみやこちゃん



目標 1 | 健康づくりを進めよう

- 健康チェックなどを通して、地域で健康への意識を高めよう。
- 食のバランスを整えるために、身近な地場野菜を活用しよう。
- 身近なところで運動や趣味活動の場を増やそう。
- 同じ趣味を持ったグループ同士の交流を図ろう。

目標 2 | 見守り・支え合いの取組を充実させよう

- 福祉施設や企業等との日頃のつながりづくりを進めよう。
- 支援の輪を広げるために、理解の輪を広げよう。
- 助け上手な人を増やそう。
- つながりづくり、顔の見える関係づくりを深めよう。

目標 3 | 子どもたちが安心・安全に過ごせる環境にしよう

- 子どもを支える相互のつながりづくりをしよう。
- 地域で過ごす子どもたちに関心を持って声をかけよう。
- 子ども目線を活かした活動を考えよう。
- 地域全体で子どもの登下校時の見守りを継続しよう。



目標 1 地域の特徴にあった仕組みづくりを進め、一人ひとりが活躍できる地域をつくろう!

- 一人ひとりが自分にできることを活かして活躍できるよう、ボランティアや地域活動に参加できる仕組みづくりを進めよう。
- 日々のあいさつを重ねて顔見知りを増やし、次世代との協働、地域活動参加の働きかけを実践しよう。
- 高齢者や障害者、小中学生や子育て世代など、様々な人が身近な地域で定期的に集まれる場をつくり、充実させよう。
- コロナの時代に合った集いの場や支え合いの方法を考え、実践し、絆づくりを進めよう。

目標 2 向こう三軒両隣、お互い様の気づき合いや助け合いで、地域の見守りを進めよう!

- 近所づきあいを再構築し、向こう三軒両隣の「近助」を進めよう。
- 日常的な見守り・声掛けや、ゴミ出し支援、ボランティアバス運行など、支援が必要な人に支援が届く仕組みづくりを進めよう。
- 災害発生時には、高齢者や障害者などの安否確認・避難支援ができるよう、ふだんからの関係づくりを進めよう。
- 認知症や障害、コロナやその他の疾病などへの正しい理解を持って、共に生きる地域づくりを進めよう。

目標 3 各団体・機関・企業などとの連携・協力体制を進めよう!

- 自治会町内会や、民生委員、老人会、「ささえあい いけべ」などさまざまな団体の取組を進めつつ、情報共有・連携してお互いのつながりを深めよう。
- 地域の中にある企業や福祉施設とも協力し、お互いに支え合う関係性を築こう。
- 行政や関係機関の施策を地域住民の生活・福祉向上に活かせるよう、情報の共有やお互い様の気づき合いを進めよう。



目標 1 | 人々がふれあいながら活力あるまちにしよう

- 地域には取り組みやすい活動があり、進んで活動に参加し、経験を地域に活かそう。
- イベントや交流会を通してみんなが知り合い、ふれあい、地域企業や公的機関等とも連携して活力あるまちにしよう。
- 情報紙などにより、地域の情報や活動、人々のふれあいを伝え、潤滑油としよう。

目標 2 | みんなの活動をつなげてお互いを支え合おう

- 高齢者・障害者など支援が必要な人をみんなが支える。
支えられる人も自分の役割を見つけ支える人になる。地域のみんながお互いを支え合おう。
- 生活の中で気遣いボランティアが集まり、お互いが支え合う心を育みながら活動し、安心して暮らせるまちにしよう。
- ちょっとした困りごとや災害などにより地域で孤立することがないようにみんなで支え、安心して暮らせるまちにしよう。

目標 3 | 子ども・青少年をみんなが見守り、地域で育てよう

- まちの歴史を学び、伝承遊びを体験しながら、ふるさとを思い、伝統を大切に子どもに育てよう。
- 遊んで遊んで、いま子どもでいる幸せを味わう。そんな元気な子を見守り育てよう。
- 子どもや青少年を地域のみんなが気づかい、強く優しく見守って大切に育もう。
- 青少年がスポーツ大会、ボランティア体験などを通してまちを大切に思い、心の成長と自立心や自尊心を育みながら将来の担い手として育てよう。



三世代交流会



夏

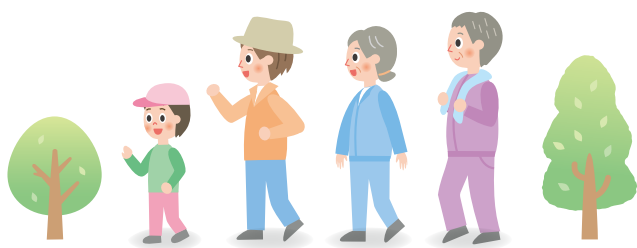
川和地区

川和町、川和台、二の丸

歩け歩け大会



そなえマップ



目標

安全・安心なまちづくりをするために、
個々に活動している地域団体が更につながりをもつこと

- 地域団体が情報交換して理解を深める。
- 地域団体の活動をPRする。
- 活動の担い手(ボランティア)を育成する。
- 定期的に川和地区福祉保健活動の進捗業況をまとめ・報告する。
- 緊急時、困っている人々を助ける。
- 平常時、要援護者の見守り・声かけに取り組む。
- 子どもを健やかに育てる環境を充実させる。
- 助け合える関係をつくるため、学校との連携を強め、高齢者のイベントに子どもが参加する等の多世代交流の機会をつくる。
- 高齢者、障害者、子育て世代などが楽しみながら活動し、孤立しない安心して住める地域をつくる。
- 健康に目を向け、元気な生活を続ける。



荇田南地区

荇田南一～三丁目、大丸



夏キャン映画会



目標 1 | 見守りあえるまち

- 防犯パトロールや青パト、登下校の見守りなど、今ある活動を続けていこう。
- そなえ登録者の集いを継続し、見守りを強化しよう。
- 各自治会ごとに認知症の理解を深めよう。
- いろいろな障害のある方が安心して暮らせるまちにしよう。
- 様々な生きづらさ*のある方が安心して暮らせるまちにしよう。
- おせっかいの達人になろう。

*外国人やジェンダー、ひとり親、ひきこもり など

目標 2 | みんなでつくる荇田南

- 荇田南安心♡便利ノートを更新しよう。
- 活動に携わる楽しさを知ろう。
- 公園で遊ぼうの活動(外あそびいく)を継続させよう。
- 自治会や子ども会に入る良さを語ろう。
- 高齢者と子どものつながりを深めよう。
- 身近な地域の活動を通じて、健康づくりに取り組もう。



渋沢地区

荏田東一～四丁目、荏田東町

目標 1 | 必要な人に必要な情報を届けよう

- 様々な年齢層に情報が届くよう、広報紙やホームページ、SNS等発信方法を工夫しよう。
- 地域の活動への参加につながるよう、活動一覧を作成し定期的に発信しよう。
- 自治会未加入世帯へ情報が伝わるよう、ごみ集積所のミニ掲示板を活用しよう。
- 各自治会や地域の関係団体の情報を共有しよう。

目標 2 | 顔と顔の見える関係を広げよう

- まずはあいさつから！ご近所同士のつながりを深めよう。
 - 自治会館など身近に集まれる場所での活動を推進しよう。
 - 災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」※の取組を進めよう。
 - 背伸びをせず、参加できる活動を続けよう。
 - 敬老会や昔遊びなど、子どもと地域がつながる活動をしよう。
- ※災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」とは、災害時に要援護者を支援するための平常時からの見守り活動です。



茅ヶ崎南MGCRS地区

メゾンふじのき台、港北ガーデンホームズ、
クレストヒルズ、ルネサンスガーデンセンター南、
グランスイートセンター南

目標 1 | 誰もが安心・安全に暮らせる地域づくり

- 地域福祉保健の仕組みをPRし、区役所などの協力を得て、みんなが学べる場を設けよう。
- PTA役員、校外委員と連携して子どもの安心・安全を守ろう。
- 「自治会」、「地区社協」、「つながりづくり」等が連携して、活動者の輪を拡げよう。
- コンパクトな地域の特徴を活かし、各自治会内に、世代を超えて気軽に集まれる場づくりを進めよう。

目標 2 | 見守り・支え合う地域づくり

- 自治会、民生委員、地区社協、シニアクラブ等が協力し、支援を必要とする人たちを把握しよう。
- 「新しい時代においても」、災害時に誰ひとり取り残さないよう、支え合い助け合いを進めよう。
- 見守り活動を通じて、担い手の輪を拡げよう。

目標 3 | つながりを進め、「新しい時代に合った」健康維持増進と地域づくり

- 「つながりづくり」が主体となり、健康維持増進活動を生み出そう。
- 「つながりづくり」の活動を通じて、多世代のつながりの輪を拡げよう。
- 子どもから現役世代までが主体的に「つながりづくり」に参加できる工夫や働きかけをしよう。
- 広報やイベントなどを通じて、「つながりづくり」の活動を発信しよう。



ポールウォーキング



憩いの場



ふれあいの丘 地区

葛が谷、高山、富士見が丘、見花山

夏祭り



防災訓練



目標 1 | 高齢者がいつまでも元気に暮らせる環境を創っていこう！

- 「引きこもり高齢者をなくす活動」・「孤立ゼロ運動」の推進
- 「災害時要援護者支援事業」への登録の促進と見守り活動の継続
- 健康寿命を延ばすための活動の推進
- 民生委員・児童委員/保健活動推進員/消費生活推進員の活動の支援
- 「ふれあいの丘ほっとボランティアの会」の活動の支援

目標 2 | 若い世代も地域活動に気軽に参加できる環境を創っていこう！

- 地域づくりを担う次世代の育成
- “現役”世代が自治会活動に参加しやすい雰囲気づくりの推進
- 家族づれで参加しやすい行事の企画
- “子育て世代”への地域ぐるみでの取組みの推進
- 青少年指導員連絡協議会/スポーツ推進員連絡協議会の活動の支援

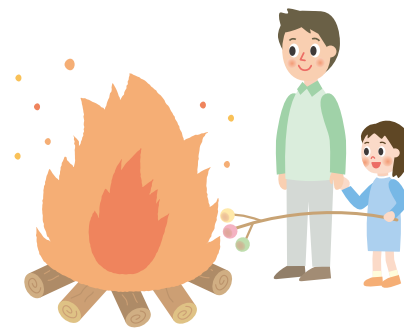
目標 3 | 地域が一丸となって地域課題に取り組める環境を創っていこう！

- 地域内ネットワーク(自治会 - 丘連 - 委嘱委員 - 関係団体 - 行政)の連携強化
- ふれあいの丘連自治会(丘連)/ふれあいの丘地区社会福祉協議会(地区社協)の広報活動の推進
- 地域の誰もが気軽に集える“会館建設”の実現に向けた諸活動
- 認知症の人やその家族が安心して住める地域づくりへの取組み
- 「おはよう食堂」を通じて、小中学生と地域とのつながりづくり
- 障害児・者やその家族と地域とのつながりづくり



柚木荇田南地区

荇田南四・五丁目、荇田南町



目標 1 | お互いに助けあい安心して暮らせる地域にしよう!

- ハートカード、ささえ合いマップを活用し、災害時要援護者支援における見守りの仕組みを作っていきます。
- 地域の状況に応じた防災の体制を作っていきます。

目標 2 | 地域の力を強くするための組織基盤づくりを進めよう!

- 連合自治会、各自治会、地区社協などの関係を強化し、最適な地域組織を作っていきます。
- お互いを理解し、様々な人が地域と関わる仕組みを作っていきます。

目標 3 | いきいきと健やかに暮らせる地域にしよう!

- 健康づくりとして、体力測定会、ラジオ体操・ウォーキング会などを実施していきます。
- 幅広い年齢層が交流できる地域のイベントを開催していきます。

